
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」第48号(2018.9.10)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第48号をお届けします。

今回の活動組織の活動紹介では、美しい農村環境の存続のために、地域の小学生とともにメダカの生態調査や放流などの環境保全活動に取り組む組織と、植栽活動をイベントにすることで地域内外の方との交流促進に繋げている組織を紹介します。

事務局からは、秋の農作業安全確認運動と各都道府県の推進組織の紹介についてお知らせします。

---第48号の目次-----

1. 活動組織の活動紹介

- ☆ 下刈敷^{しもかりしき}地区環境保全活動組織（宮城県栗原市^{くりはら}）☆
- ☆ 三箇牧^{さんがまき}地区農空間保全協議会（大阪府高槻市^{たかつき}）☆

2. 秋の農作業安全確認運動について

3. 各都道府県の推進組織を紹介！

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介(1)

～^{しもかりしき}下刈敷地区環境保全活動組織(宮城県^{くりはら}栗原市)～ ■

～地区概要～

宮城県北西部の栗原市の東部に位置する下刈敷地域を拠点に活動。

活動範囲は、田 126.8ha。対象施設は、水路 14.2km、農道 9.5km。

～主な取組～

- ◎本地区では、農家の兼業化・高齢化が進んでいく中で、集落を取り囲む美しい農村環境を、将来どのように存続させるかが課題となっていました。
- ◎そこで、本組織では地域内の草刈りや水路の泥上げ等の基礎的な活動に加えて、カバープランツによる防草対策、景観保全活動に取り組んでいます。
- ◎また、環境保全活動の普及・啓発の一環として、地域の小学生を対象としたメダカの学習会を開催し、メダカの生態調査や放流活動を実施しています。メダカをはじめとする様々な田んぼの生き物や自然との触れ合いを通じて、農村環境を守ることが生き物の命を守ることに繋がっているということを子どもたちに伝えています。
- ◎さらに、メダカを放流した田んぼで栽培された米は、地域の独自ブランド米「栗原・めだかっこ米」として商標登録され、地域のJAを通じて販売されています。
- ◎こうした取組の結果、子どもたちの環境保全への意識が高まるとともに、地域農家との交流が図られています。これからも、地域一体となって、美しい農村環境の存続に向けて取り組んでいきます。



カバープランツ事業



メダカの生態調査の様子



農村環境について講話



「栗原・めだかっこ米」ロゴマーク

【下刈敷地区環境保全活動組織 会長 中澤 秋雄】

■ 1. 活動組織の活動紹介(2)

～^{さんがまき}三箇牧地区農空間保全協議会(大阪府高槻市)～ ■

～地区概要～

大阪府北部にある高槻市南部に位置する三箇牧地区を拠点に活動。

活動範囲は、田 100.3ha 畑 3.8ha。対象施設は、開水路 34.5km、農道 14.0km。

～主な取組～

- ◎本組織は、市街化区域に隣接する4つの集落で構成されており、農業の価値を多くの人に認識してもらうことを目的に、地域内外の交流促進の取組に力を入れています。
- ◎交流の促進に向けて、秋にチューリップの球根を植える「緑化フェスタ」を行い、開花に合わせた春に「チューリップフェスタ」を開催しています。植栽活動をイベントにすることで地域内外の方が多く参加しています。
- ◎また、本組織が休耕田を活用して整備した「コスモス栽培場」を一般開放することで、自然とのふれあいを求めて多くの方が足を運ぶようになり、交流の場の創出にも繋がっています。
- ◎さらに、地元の小学校と連携して、環境学習として生き物調査、農業体験としてもち米栽培、サツマイモやタマネギの栽培を行うことで、子どもたちに環境保全の大切さと農業の楽しさを実感してもらっています。
- ◎これらの活動を始めてから、路上に捨てられるゴミが減少しており、地域住民の景観に対する意識向上に大きく貢献したことが実感されています。今後は、地域の子どもたちが将来農家になってみたいと思える環境を作っていきたいです。



緑化フェスタ



コスモス栽培場



小学生の農業体験

■2. 秋の農作業安全確認運動について ■

農林水産省では、毎年300人以上発生している農作業死亡事故を減少させるため、9月1日（土）から10月31日（水）までの期間「まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全」をテーマに秋の農作業安全確認運動を実施しています。

活動組織の共同作業においても、特に、草刈り作業中の事故が多発しており、作業者同士による草刈機の接触事故も散見されています。草刈作業については、作業者同士の間隔は十分に距離をとること、草刈作業中の作業者に近づくときは前方から合図を行うことなどの注意が必要です。詳しい草刈作業の留意点は一般社団法人日本農業機械工業会のホームページ「刈払機の正しい使い方」を参考にしてください。

期間中に、活動組織内で農作業の安全について確認を行い、事故のない共同作業へ繋げましょう。

○「秋の農作業安全運動」についてはこちらから！（農林水産省 HP）

<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/sizai/180731.html>

○「刈払機の正しい使い方」についてはこちらから！（一般社団法人日本農業機械工業会 HP）

<http://www.jfmma.or.jp/news.html>

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■3. 各都道府県の推進組織を紹介 ■

各都道府県においては、地域ごとの多様な特性を踏まえて、多面的機能支払の円滑な取組を推進するため、「推進組織」が設立されています。

その推進組織の一員として、各都道府県の土地改良事業団体連合会（愛称：都道府県水土里ネット）は、地域の農地・農業用施設（水路、農道、ため池等）の共同保全活動を支援しています。

「全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会」は、都道府県水土里ネットと全国水土里ネットが構成員となって、平成27年5月に設立され、多面的機能支払に関する情報交換、広報活動、農林水産省との共催による事例研究会の開催等を行っています。

協議会では、「農地・農業用施設の保全活動」というホームページを立ち上げており、各都道府県に設置されている「推進組織」や活動内容の紹介等を行っていますので、是非ご覧ください。

◎全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会 HP「農地・農業用施設の保全活動」

<http://www.inakajin.or.jp/jigyoutabid/388/Default.aspx>

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■編集後記■

今月の9月1日は「防災の日」であったことから、地域の防災訓練などに参加された方も多かったのではないのでしょうか。近年は、異常気象による豪雨災害や台風が多発しています。今一度、家に常備している防災セットや最寄りの避難所へのルートの確認を行い、迅速な対応ができるように日頃からの備えをしっかりとっておきましょう。

また、9月に入ると本格的な稲刈りシーズンに入ります。普段から食べ慣れているお米でも「新米」はやはり味が違いますね！そして、おいしいご飯をたくさん食べるには、お供も大切です。私の地元では「へしこ」という鯖の加工食品があるのですが、これが私の一番のご飯のお供です！へしこがあれば、何杯でもご飯が食べられる気がします。みなさんもお気に入りのご飯のお供で新米を味わいましょう。

◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！→



◇平成30年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。どんどん活用ください！！

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx



高めよう 地域協働の力！

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤田、大木）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
